



群馬オペラアカデミー2018

春期受講生募集

第8回農楽塾

2018年5月1日～5月5日 @群馬県館林市

応募〆切：2018年2月7日必着

農楽塾は「農」と「音楽」を組み合わせた斬新なコンセプトの合宿型オペラアカデミーです。農体験(田植えと収穫)を通じて地域の伝統や文化に触れ、豊かな感受性を養う一方で、オペラ歌手中嶋彰子を中心とした世界トップレベルの国際的な音楽家や講師陣の指導の下、次世代の舞台人を目指して知識や技術の習得に励みます。民家や公民館で若手とプロの音楽家たちが食・住を共にし、様々な経験を分かち合うことで、参加者の皆さんひとり一人が、歌手として、指揮者として、あるいはコルペティールや演出家など舞台上で活躍するアーティストとして、一段と成長することを目的としています。

2018年春開催

第8回農楽塾の特徴

第8回農楽塾は、活動場所がグレードアップします！館林市の文化のシンボル、文右衛門ホールを拠点に塾が行われることになりました。音響の素晴らしいこのホールでの毎日のレッスンの他に、共に生活しながら語学が身につくようカリキュラムが構成されています。

また、今回の塾で優秀な成績を修めた受講生は、農楽塾・秋期演奏会第四弾「農楽塾オペラハイライト vol.4」のキャストや製作スタッフに選ばれる可能性もあります。

※過去の農楽塾の様子は下記サイトにて、ご覧いただけます。

- ・中嶋彰子オフィシャルサイト：www.akiconakajima.org
- ・農楽塾オフィシャルサイト：www.nourajuku.jimdo.com
- ・農楽塾 Facebook ページ：www.facebook.com/nourajuku

2018 年春合宿のポイント

講師

第 8 回農楽塾は、総監督中嶋彰子に加え3名の国際的な講師をお迎えします。ウィーン出身のベテラン教授、ゲアハルト・カーリー教授は、中嶋彰子が最も尊敬する歌の先生の一人であり、バーバラ・ボニー、アンゲリカ・キルヒシュラーガー、ラファエル・フィンガーロスなどの名歌手たちが彼を信頼しています。ドラマチック・ソプラノで、名門ウィーン国立音楽大学のイタリア語講師でもあるマグダレーナ・レンヴァルトさんは、ドイツ語とイタリア語のバイリンガルです。彼女には語学を担当していただきます。そしてジャンルを超えた音楽の演奏者であるピアニストの齊藤雅昭さんは、ウィーン私立音楽院歌曲伴奏科とリート・オラトリオ科の講師でもあり、春期合宿では、コレペティを指導していただきます。

レッスン内容

2018 年度は、歌曲に重点を置きます。一流歌手が頼りにしているベテラン教授からの曲の解釈、ネイティブスピーカーとの毎日の語学トレーニング、歌手の伴奏ピアニストを希望する学習者は、歌手たちと共に歌曲勉強を行う事で、より幅の広い理解度を深めることでしょう。総監督は体力作りと表現力の研究を担当する他、リサイタルの選曲方法や個人的なアドバイスも行います。

合宿の特色

館林市内の農家と区民館(男女別)に寝泊まりしながら、文右衛門ホール、館林市中部公民館でトレーニングを行います。朝食は自炊が基本で、板倉町で収穫された新鮮な野菜、お米、手作りの味噌などをいただき、実行委員会のメンバーにお手伝いいただきながら塾生全員で調理を行います。合宿中のイベントには、館林の有名なツツジの花見、ピクニック&田植え、お琴とお茶会、最終日は公開発表会と打ち上げ交流会などが予定されています。

農楽塾では、会話に英語やドイツ語、イタリア語も使われるため、留学の際、あるいは海外で活動する際に役立つ「生きた言葉」が体験できるのも特徴です。また、講師陣と受講生が食と住を共にするため、講師と語り合う機会や講師の貴重な話を聞く機会、そして講師に助言を仰ぐことが出来る機会が多いのも、農楽塾ならではの大きな特色です。受講生の選考で優先されるのは4泊5日の合宿に全日参加できる方ですが、一泊あるいは宿泊無しなど、様々な参加スタイルも用意しています。

募集要項

【合宿期間】

2018年5月1日 ~ 5月5日（4泊5日） ※ 2018年5月1日、館林駅11時半集合

【定員】

20名

【応募資格】

- 声楽家：舞台歌手として向上心が強い方
- ピアニスト：歌の伴奏を希望し、国際的な活動も希望されている方。

※以前のオーディションの際に春期合宿にお誘いした方、すでに塾友の方で、今回参加を希望される方は、noura.juku@gmail.com までご連絡下さい。

【合宿の流れ】

- ・初日は、カリー先生の公開レクチャーが行われます。この場で受講生全員に演奏していただき、グループ分けをします。
- ・2日目：4つのグループに別れ、それぞれの教師から1時間半のレッスン、それぞれ合計6時間のグループレッスンを受けます。
- ・3日目：お花見散歩で爽やかにスタートし、午前のレッスンの後は、重要史跡建物である旧秋元別邸にて、お箏鑑賞とお茶席体験をします。午後のレッスンの後はドイツ語とイタリア語での料理教室を行います。
- ・4日目：午前中のレッスンの後、板倉町に移動し、ピクニックと田植え体験をしましょう。
- ・最終日：15時から発表会が開催されます。この日はゲネプロの後と発表会の後に講師との個人相談の場が設けられます。希望者は総監督に相談してください。発表会の後は実行委員会や地域の方々との交流会が開かれ、夜20時に解散となります。
- ・受講生には、最終日、塾修了証書が授与されます。

【参加費用】 ※受講料には、宿泊費（銭湯は自己負担）、食事費（2回ある自由行動の夕食費は自己負担）、お茶会、歓迎パーティー、打ち上げパーティー費込み料金となります。集合場所までの交通費は、各自ご負担ください。

- 声楽家 7万5千円
- ピアニスト 4万円

【受講者選考方法】

- 書類選考

※全日参加が望ましいですが、都合により中途参加も相談に応じます。但し、定員を超えた場合は、全日優先、且つ、申し込み先着順となります。（最終日のみの参加は不可）

【申込方法】

受講申込書に必要事項を記入し、下記の住所までご郵送ください。

メール(nourajuku@gmail.com)にて受付けいたします。

また、アレルギーなどで特別扱いが必要な方は、申込書郵送の際、併せてお知らせください。実行委員会の判断により、場合によっては参加できない可能性もありますので、予めご了承ください。

《郵送先》

「農楽塾」2018春期受講生応募係

〒374-0112 群馬県邑楽郡板倉町朝日野 1-15-7
わいわいネットワーク「農楽塾」

【申込〆切】

2018年2月7日(水)必着

【受講生選考結果の発表】

選考結果は2月12日(月)頃、メールにて本人宛に通知致します。

(農楽塾のメールアドレスを受信出来るよう設定をお願い致します)

【参加費用のお振込先】

受講生に選ばれた方は**2月16日(金)**までにお振込ください。お支払い後に参加を辞退される場合、20%のキャンセル料を頂くことになります。ご了承下さい。

- 群馬銀行：板倉ニュータウン出張所・口座名義:ノウラジユク・口座番号 0101476
(※振込手数料はご負担ください)

【各自持参していただくもの】

- 楽譜のコピー**: 受講を希望するドイツ歌曲4曲とドイツ語以外の歌曲あるいはバロックからモーツァルトまでのアリア4曲、合計最低8曲の楽譜のコピーを各3部ずつ(自分用、伴奏者と講師用)用意してください。
- 歌詞(原語と和訳)のコピー**: すべての受講曲について各2部ずつ(自分用と講師用)準備してください。訳は手書きでも結構です。
- トレーニングウェア&シューズ**: Tシャツ、短パン、レオタード、スウェットなど、伸縮性のある動きやすいウェアと、運動靴、ヨガマットを用意してください。
- 女性の方**: 舞台用のハイヒールと稽古用のロングスカート
- 発表会用の簡単なセミフォーマルな衣装**: 女性はロングドレス以外でも構いません。男性はジャケットと革靴を用意してください。
- その他**: 筆記具や宿泊に必要な入浴用バスタオル、洗面用具などは、全て持参してください。

【お問い合わせ】

- E-Mail: nourajuku@gmail.com 事務局まで
- 農楽塾公式 Facebook ページ: www.facebook.com/nourajuku